

須恵

これ知っとう?

わが町の宝物 第9回

乙植木古墳群



古墳群からの出土品(須恵町歴史民俗資料館)

時代は移り変わっても、守り続けていきたい自然・歴史・文化・人…
須恵町の大切な宝物をご紹介します。

乙植木古墳群は、乙植木天満宮のある丘陵の上に位置する古墳群です。

お宮の丘陵は、九州自動車道によって東西が分断されていますが、かつては一つの丘陵でした。九州自動車道建設と開発に伴い、昭和47年と昭和60年に、計8基の古墳の発掘調査が行われました。

調査の結果、今から約1500年前の5世紀中ごろから6世紀後半にかけてのおよそ100年の期間にわたって築造された古墳であることが分かりました。

古墳群からの出土品の一部は、町立歴史民俗資料館に展示されています。特に、3号墳から出土した銅鏡は、町内に約70基ある古墳の中で唯一、鏡を

乙植木区の合屋浩寿さん(写真左)と稲永義一さん(写真右)にお話を伺いました。

副葬した古墳です。鏡を副葬する古墳は有力者の証といえます。

古墳が位置する丘の上は現在、天満宮の社があり、毎年7月には奉納相撲が行われます。静かな社叢が大いに賑わいます。また、7月末には子ども会による獅子舞が行われ、子どもたちが6組に分かれて地域の安全安心を祈ります。

権力者の墓地であった丘陵は、今は地域の氏神様である天満宮が鎮座し、乙植木の人々を見守り続けています。



- 乙植木天満宮
所在地:須恵町大字植木1677番地
- 須恵町歴史民俗資料館
所在地:須恵町大字上須恵21番地3
休館日:月・火・水曜日(祝祭日除く)・8/1~15・12/25~1/10
電話:092-932-6312



編集後記

福岡・大分の大洪水による被害を受けた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。町立歴史民俗資料館を視察しました。社会教育課の山下学芸員の説明を受けながら、5世紀頃から続く須恵町の歴史に思いをはせました。今定例会でも、「町の歴史遺産の保存と活用について」一般質問がなされました。本頁の「わが町の宝物」では、約千五百年前の「乙植木古墳群」について解説されています。天満宮のある丘陵(古墳群)から出土した銅鏡や腕飾りも民俗資料館に展示されています。江戸時代の眼科宿場、国営海軍炭鉱志免鉱業所のジオラマ資料や写真、昭和の懐かしい日常生活用品にふれながら、昔を偲ぶ時間を持ってみるのはいかがでしょうか。

白水 勝元

発行責任者

議長:三角 良人

広報特別委員会

委員長:今村 桂子
副委員長:白水 勝元
委員:合屋 伸好
委員:三角 栄重

6月定例会

主な内容

- 業務改革の可能性を探る 2
- ここが聞きたい 4
(一般質問)
- これ知っとう? 14
(乙植木古墳群)

表紙シリーズ / 未来を担う子どもたち「なつ!夏!夏本番!」



三角 良人 議長

業務改革の可能性を探る

～総務省のモデル自治体に～

6月定例会

平成29年第2回定例会は、6月9日から16日までの8日間で行われ、審議の結果、提案された議案21件を原案のとおり可決・承認・同意しました。また、請願1件は不採択としました。

平成29年度一般会計補正予算(第1号) 4099万円を増額 総額83億9099万円

全員賛成 可決

須恵町の改革モデルを全国に

業務改革モデルプロジェクト 事業費 1545万円増額 (全額国が負担)

総務省の受託事業として

総務省が募集した今年度の「業務改革モデルプロジェクト事業」に全国7市町が選ばれました。「町」として選定されたのは須恵町のみです。

選定された自治体(29年度)

自治体名	人口
北海道北見市	11万9000人
千葉県船橋市	63万人
滋賀県彦根市	11万2000人
滋賀県草津市	13万2000人
大阪府河内長野市	10万7000人
福岡県須恵町	2万7000人
熊本県宇城市	5万9000人

千人未満切り捨て

業務改革の必要性

人口減少など社会構造の変化が進み、地方公共団体においては、人的・財政的な経営資源の制約が強まっています。

そのような中、質の高い公共サービスを効率的・効果的に提供するための改革が求められており、須恵町でも昨年度から業務改革の検討が始まっています。

事業のねらい

一連の業務全体を根本から見直して再構築を実現するための手法(BPR)を活用した業務分析や、住民サービスの向上、内部管理業務改革などを実現する効果的なプロセス等について検討が行われます。

検討の結果、改革の手法が有効である場合は、須恵町で取り組みを実施し、他自治体でも展開されます。

検討される内容

須恵町では、主に次の内容について検討が行われる計画です。
○窓口業務および内部管理業務の総合的な集約化、アウトソーシング(外部委託)
○宇美町・志免町と3町で共同運用している電算システムの広域連携
○民間事業者と連携したアウトソーシングの検討、受け皿となる事業者の確保

この事業を通して、様々な検討がなされ、より質の高い公共サービスの提供につながっていくものと期待します。
9ページ町長報告に関連記事

城山防災会館(仮称)建設工事 請負費 1440万円増額

城山区公民館は、建て替えに伴い、防災施設として整備されます。当初予算時の見込みより、人件費・資材費などの単価が上がったため増額され、工事請負費の合計は9940万円となりました。

オープンイノベーション戦略 推進費 544万円増額

オープンイノベーションセンター(仮称・建設中)に株式会社を設立するための登記費用32万円、出資金100万円、備品購入費240万円など、あわせて544万円が計上されました。

工事請負契約の締結

旅石地区水路改良工事

○請負金 7830万円
○工期 平成30年3月15日まで

賛成多数 可決

その他補正予算(平成28年度分・専決処分) 平成28年度予算の最終調整が行われました。

会計区分	補正額	予算総額	採決結果
一般会計	△1億9663万円	89億1364万円	賛成多数承認
国民健康保険特別会計	△2億1634万円	37億3370万円	賛成多数承認
公共下水道事業特別会計	△800万円	11億824万円	全員賛成承認

請願の審査結果

「義務教育費国庫負担制度拡充」を国の関係機関に求める意見書提出に関する要請

提出者 松尾昇
紹介議員 児玉求

賛成1・反対11

賛成少数 不採択

その他の議案

◇須恵町税条例の一部改正 [専決] (賛成多数で承認)

◇須恵町国民健康保険条例の一部改正 [専決] (賛成多数で承認)

◇須恵町個人情報保護条例及び須恵町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正 (賛成多数で可決)

◇須恵町職員の育児休業等に関する条例の一部改正 (全員賛成で可決)

◇須恵町後期高齢者医療に関する条例の一部改正 (全員賛成で可決)

◇須恵町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正 (全員賛成で可決)

※すべてのページにおいて金額は1万円未満を切り捨てています。

環境

歩道にある街路樹の撤去は

段階的に対応



答弁中の中嶋町長

町内には、街路樹の根が歩道を押し上げ、歩きにくくなっている箇所が見られます。特に、城山区の歩道にある銀杏は大木となり、凹凸が生じているため、小学生や高齢者、ベビーカーを押す歩行者は危険です。骨折などの負傷をされた高齢者もいると聞いており、区の総会でも改善の要望が出されています。

県道も含まれているため、なかなか進まないとは思いますが、撤去は可能でしょうか。また、木の撤去後に、歩道を平らに整備することについて検討を。

答 甲木都市整備課長

町道城山（新原線歩道内）の銀杏は樹齢40年以上で、舗装面を持ち上げる「根上がり」現象を起こし、通行の妨げになっていきます。平成28～30年度にかけて撤去し、舗装面の復旧も計画しています。県道志免（須恵線の街路樹についても、県と協議済みで、要望をあげていただければ、段階的に対応していくとの回答を得ています。



三角 栄重 議員

交通

西鉄バス（天神行き）増便への働きかけを

引き続き要望

問

3月議会において、高齢者の運転免許返納について一般質問がありました。免許証を返納された高齢者の方々の足となっているのはバスです。また、通勤や通学で利用される方も多くいます。しかし、天神行き西鉄バスは昼間の便数が急激に減少し、不便になっています。例えば、イオンモール止まりのバスを利用し、天神行きに乗り換える場合、待ち時間が20～30分生じます。帰りも同様です。従来どおりのバス運行ができるよう働きかけを。

答 中嶋町長

平成29年のダイヤ改正により、昼間の天神直通の便数が減少し、イオンモールを起点とする路線が新設されました。西鉄は、天神乗り入れの渋滞緩和と赤字路線解消を目指しており、今後、利用者減により路線廃止に及ぶ可能性もあります。

地域住民の移動手段を確保するため、公共交通の利用を呼びかけ、バスの利用者増を図るとともに、西鉄には引き続き路線の存続を要望していきたいと考えています。

文化

雑誌破損の現状、雑誌スポンサー制度導入は

図書館協議会に諮る

問

最近、図書館で記念誌などの一部が切り取られる事件が数件発生し、報道されました。須恵町の図書館での本などの破損状況、監視カメラ設置などの対策はどうなっていますか。

また、法人や企業が雑誌棚や雑誌カバーに広告を掲載し、雑誌購入代金などを負担する雑誌スポンサー制度導入

についてお答えください。

答 中嶋町長

現在のところ、図書館の書物の破損・盗難はありません。また、監視カメラは、閲覧の自由や個人のプライバシーに関わることから、職員の目視や巡回にて注意を払っており、設置していません。雑誌スポンサー制度については、図書購入費の削減には

つながりますが、スポンサー契約数の維持が難しいと聞いています。契約数減少により、企業等から雑誌が提供されない恐れもあります。導入については、図書館協議会に諮りたいと思います。



今村 桂子 議員

観光

観光ボランティアの育成・活用は

「伝えたい人」を育成

問

先日、文教厚生委員会で見学した歴史民俗資料館や美術館では、資料などの説明をしていただくことで、より充実した利用ができました。観光ボランティアの方が案内・説明をしていただくことで、資料館などの利用者も増えると思います。ボランティアを活用して須恵町の名所旧跡を巡るイベントの対応や、資料館の案内・展示品説明の実施、開館日数を増やすなどの取り組みができればと考えます。

歴史講座などを開催し、受け継がれた方々に観光ボランティアとして活動していただく

答 中嶋町長

平成19年から、生涯学習講座で「歴史講座」を開講し、毎年20人前後の方が受講されています。毎回受講された方を対象にボランティアガイドを募集していますが、就任には至っていません。今後は「学びたい」だけでなく「伝えたい」という人を育成したいと考えています。

歴史民俗資料館協議会に諮り、検討したいと思います。

一／般／質／問

ここが聞きたい！

○一般質問とは、議員が町長など執行機関に対し、町の行財政全般について疑問点をただし、報告や説明を求めることです。

○「問」については、議員が提出した要約文のとおり掲載しており、編集は行っていません。

文化

須恵町の歴史遺産の保存と活用は

困難な状況

問 私たちが住む須恵町は、すばらしい歴史ある町です。江戸時代には、御典医と眼病人宿が点在していました。時代の流れとともに家屋の建て替え等が進み、今は昔のおもかげを偲ぶことができません。

歴史民俗資料館には、当時使用されていた貴重な道具等が保存、展示されていますが、これだけではただの道具でし

かないと思います。

財政的な問題もあるとは思いますが、現存している歴史的家屋等の保護に力を入れ、観光の目玉として整備していけば、何もない町ではなく、歴史ある町として大きく躍進でき、財政的にも十分採算が取れるのではないかと考えます。

答 中嶋町長

本町には、町指定文化財の歴史的建造物はありません。

江戸時代にさかのぼる古民家が2軒現存していますが、1軒は取り壊したいとの意向です。文化財登録には文化庁の調査と所有者の同意が必要



猪谷 繁幸 議員



眼療医に関する貴重な資料(須恵町歴史民俗資料館)

昨年、須恵町文化遺産活用実行委員会で「道の記憶」という映像記録(上須恵須恵の眼科の歴史に関する説明)を作成しています。みんなの力で、できるものを残していければと思います。

観光は「消費財」であるのに

対し、文化財は「未来永劫残すべき財産」です。

町外から人を呼ぶことも大切ですが、講演会や史跡めぐり等を通じて、言い伝えや物語などを含め、町内の方々に本質を変えることなく伝えることこそが歴史遺産であると考えています。

町政を問う!

一/般/質/問

雇用

須恵町の障がい者雇用の現状と取り組みは採用試験を実施

問 『障がい者の雇用の促進等に関する法律』に基づき、民間企業・国・地方公共団体は、それぞれの法定雇用率に相当する数以上の障がい者を雇用しなければならぬとされています。

雇用義務の対象となる障がい者は、身体または知的障がい者で、国や地方公共団体の法定雇用率は2・3%、この

計算式を須恵町に当てはめると1・87%となります。福岡労働局が取りまとめた平成28年の障がい者雇用状況の集計によると、須恵町は基準に達していませんが、雇用環境や今後の取り組み等について伺います。

答 満行総務課理事

町職員の障がい者の雇用状況として、福岡労働局に2人を報告しています。

当該職員は、他の一般職員と同じように一般事務を行っています。サポート体制などについては、相談・要望もなく、職場の施設環境に改善が必要という状況はありません。

障がい者の在職

人数は、法定雇用率の2・3%で計算した場合、2人で不足することはありますが、実雇用率は1・87%と法定雇用率を下回っていますので、今後、改善の必要があると考えています。

今年の9月に、障がい者を対象とした採用試験を実施

し、年齢を40歳まで広げて募集をする予定です。須恵町で働いてみたいという方がいらっしゃれば是非とも受験していただきたいと思います。

町内企業における障がい者の雇用状況は、町では把握していません。



三上 政義 議員

平成29年度
須恵町職員採用試験案内
平成29年 7月 3日
須 恵 町 総 務 課

1. 試験区分、採用予定人数等

試験区分	採用予定人数	仕事の主な内容
一般事務A	4名	一般行政事務に従事します
一般事務B (身体障がい者対象)	1名	

(注) 採用予定人数は変更になる場合があります

2. 受験資格
(1) 年齢等

試験区分	受験資格
一般事務A	昭和63年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた人
一般事務B (身体障がい者対象)	昭和52年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた人で、身体障害者福祉法第15条に定める身体障害者手帳の交付を受けている人のうち次の①、②のいずれの要件にも該当する人 ①自力で通勤ができ、かつ介護者なしに一般行政事務職員として職務の遂行が可能なる人 ②活字印刷文による出題および口頭による面接試験に対応できる人

8月18日まで受付
(問い合わせ先: 総務課 ☎ 932-1152)



町長・教育長報告

委員会レポート

議会あれこれ

まちづくり

サテライトオフィス誘致に関する施策は

オープンイノベーションの中で

問

町の魅力や稼ぐ力といった新たな付加価値創出のため、オープンイノベーション戦略推進事業が進められており、現在の拠点となるセンターの建設が進んでいます。

当町は空港から近い、自然環境に恵まれている等の特徴をふまえて大都市圏から情報企業等の支店、サテライトオフィスの誘致をご検討いただきたい。

か、高速プロードバンド環境の整備やコンサル料などに多額の費用がかかります。須恵町では、IT企業に限定せず、「稼ぐ」といった観点からも、オープンイノベーション事業に取り組む方針を固めたところです。

答 中嶋町長



白水 勝元 議員

答 平山 まちづくり課長

平成29年2月に総務省からサテライトオフィスマデル事業の募集があり、須恵町でも検討を重ねました。

全国で、オープンイノベーション事業を実施している「町」は数少なく、難しい事業ではあります。しかし、須恵町には企業組合が組織されている等、オープンイノベーションに取り組みやすい環境にあると思います。

サテライトオフィス 企業または団体の本拠から離れた所に設置されたオフィスのこと。



建設中のオープンイノベーションセンター（平成29年9月完成予定）

一般質問 どげんなっとうと？

町長報告 中嶋裕史 町長

これからの事業



中嶋 裕史 町長

（総務省の受託事業）業務改革モデルプロジェクト事業

この事業を活用して、業務のアウトソーシング（外部委託）や電算業務効率化の可能性を検討していきたいと考えています。

須恵町PR事業

昨年度に引き続き事業を展開しています。4月に開催された「つつじ祭り」では、商工会と連携して郷ひろみさん（須恵町出身）のコンサート招待券の抽選を企画し、多数の応募がありました。町内外問わず多

くの方に足を運んでいただき、町の魅力を広くPRすることができたいと思います。また、現在、各課担当者でプロジェクトチームをつくり、養生みそのPRに取り組んでいます。木工品や竹細工も合わせ、各課の連携を密にし、事業のさらなる拡充を図っていききたいと考えます。

公共施設等総合管理計画

須恵町で人口増が続く要因のひとつとして、公共施設やインフラ整備により住民ニーズに対応してきたことが考えられます。

しかし、これらの施設等は将来、改修や建て替えに多額の費用を要するため、長期的な視点で効率的・効果的にマネジメントを行うための指針として「須恵町公共施設等総合管理計画」を策定しました。推進委員会を設置して計画を進めていきます。

教育行政報告 安河内文彦 教育長

ありがとうの感謝の心を

平成28年度の主な取り組み

- 不登校児童生徒適応指導教室「やまももルーム」開設
支援員1日2人体制で、180日間開室。今後、専属のスクールカウンセラーを配置して、より専門的な支援体制を整えます。
○子どもの居場所づくり事業
保育コーディネーターおよびシルーバー人材センター会員による児童預かり（夏・冬・春休みの長期休業期間）を実施しました。
○オアシス運動



安河内 文彦 教育長

地域、学校等の協力を得て実施しました。29年度から、横断歩道で停車していただいた運転手への

「ありがとうございました」の言葉や「あいさつ日本一」を目指した活動など、年々拡大しています。

待機児童解消に向けて保育士の確保に取り組み、29年度はさらに定員を増員することができました。

29年度の主な新規事業

- 登下校情報把握システム「ツイタもん」導入
児童のカバンにつけたタグにより、登下校の情報が記録されます。
○外国語教育の推進

32年度の学習指導要領改定に伴い、小学校で英語が教科となることを受け、第二小学校を外国語教育推進校として支援します。

○立志式の実施
中学2年生を対象に、望ましい勤労観・職業観を身につけ、地域社会の一員として自分の将来や生き方を考え主体的に進路を切り開くことを狙いとして実施します。

視察研修レポート 6月27日～29日 福井県鯖江市・富山県氷見市

下記のとおり福井県・富山県の3施設への視察を行いました。いずれも、画期的な事業や施設でした。

鯖江市JK課

福井県の西寄りに位置し、面積84・59km²、人口約6万9千人の眼鏡フレーム全国シェア約96%の市です。

ここでは「鯖江市民主役条例」についての研修でした。

旧図書館を利用した市民ボランティア推進がなされ、中でも特に「鯖江市役所JK(女子高生)課」を設置したまちづくりの取り組みに驚かされました。

まちづくりに無関心の代表格を巻き込むためということ。画期的な発想を自ら実施するというもので、いろんな事業やコラボがなされていました。



女子高生がまちづくりに参画

その流れで「〇〇(おばちゃん)課」設置にも至ったということ。



高岡地区広域圏事務組合 婚活

富山県の北西部に位置する高岡市・氷見市・小矢部市の3市人口約25万人の可燃ゴミの処理を行う施設の研修でした。

あわせて、「ここを核とした「広域観光」体験・交流」「情報提供」を柱とする10のソフト事業が実施されていました。

中には婚活事業があり、各市で登録したおせっかいさん達が情報を交換して、仲人役をするというものです。

人口減少の対策として実施され、実績はこれからだということ。



開放感のあるフロア

氷見市 旧高校を庁舎に

富山県の北西部に位置する面積230・56km²、人口約4万8千人の市庁舎を見学しました。

東北の地震をみて、沿岸部にある庁舎の危険性を理由に移転が計画されました。たまたま廃校になる高校があったことから、これをリニューアルして使うことになりました。

特に住民がよく訪れるメインは旧体育館で、その広さに驚きました。教室は会議室などに、グラウンドは駐車場にと有効な利用がなされていました。

文化にふれる

社会教育課より施設の概要・利用状況・今後の活用の方角性について説明を受け、意見交換を行いました。

5月12日(金) 歴史民俗資料館・久我記念館を視察

歴史民俗資料館

志免鉱業所のジオラマ・昔なつかしい農具・昭和のおもちゃなど3千点が展示されています。

つつじ祭り会場の健康広場への移設やJRウォーキングコースからはずれたことなどにより、平成28年度来館者は3130人と減少しています。

来館者増に向け、開館日を増やすことや、展示の工夫、トイレ改修の検討など、活発に意見交換を行いました。



久我記念館

糟屋郡唯一の公立美術館として小・中学生や若手作家の発表の場を提供し、コンサート企画なども行われていますが、平成28年度来館者は5629人と減少しています。

来館者増に向け、展示会プラスアルファのイベントを実施し、活性化を図っていく予定です。

それぞれに館長が配置され、今後はまちづくり課と連携し、両館の魅力を発信し、広く町内外にPRすることで、新規来館者およびリピーターの増加が本町活性化に結びつくと考えます。



(撮影 尾花 基)

委託先変更による改善は

7月13日(木) ランチサービスの現状を視察

ランチサービスが実施されて3年目となりました。

今年の3月に委託業者が変更になってから4か月が経過しており、実施状況の調査・試食を須恵東中学校において行いました。

利用率は

現在、ランチサービスを利用している生徒は毎月25%程度です。弁当持参の生徒が一番多いとのことですが、コンビニの弁当やパンの生徒もクラスに5人ほど見受けられるそうです。

美味しくなり、メニューも豊富に

以前より味が良くなり、おかずの種類や量も増え、利用している生徒や先生の評判は良いそうです。栄養士によりカロリー計算がさ



より利用しやすいサービスを目指して

今後、申し込み方法の改善・保護者への周知も図っていくとのことです。生徒の健全育成のために、食育の必要性を再認識しました。

議長通信



三角 良人 議長

車中にて

ある公共交通車両内での出来事。その日は大変混雑しており、おばあさんは立ったまま乗車中。子どもは席に座ってマンガ本に夢中。おばあさんは、子どもにこう語りかけました。「年寄りには、席を譲りなさいと学校で習わなかったかい。」子どもは悪びれた様子もな

く「いや、習わなかったよ。」そのやり取りを見かねた女性が「おばあさん、こちらの席にどうぞ」と声をかけ、席を譲りました。おばあさんは子どもを見つめながら黙って譲られた席に座りました。そこで子どもが一言。「おばあさん、学校で親切にされたら、お礼を言うよう習わなかったの?」

昔は、目上の人や子ども連れの人に席を譲ることは当たり前の親切行為でしたが、今はどうでしょうか。席を譲っても座ってもらえない時があります。周りが気まずい雰囲気になりますよね。譲られ

る側も「譲るのは当たり前だろう」「まだ譲ってもらう年齢ではない」と不快な思いを持つ人もおられるようで、譲る側にとっても声をかけることが難しい時代になっているように感じます。

近頃は、私も席を譲ってもらえることが多くなりました。見栄を張らずに、素直にお礼を言うことにしています。



作・田原ウーゴ
1979年須恵町生まれ。イラストレーターとして福岡を中心に九州・東京の広告やエディトリアルにて活動中。 <http://polyworks.jp>

人事案件の審議結果

須恵町固定資産評価審査委員会委員の選任

稲永 幸子氏 (旅石区・65歳)
任期満了に伴い再任
任期 平成29年7月1日～平成32年6月30日



須恵町農業委員会委員の任命

農業委員会法改正により、農業委員の選出方法が「公職選挙法に基づく選挙制」から「町長の任命制」に変わりました。
任期満了後の委員として次の9名の方が任命され、議会が同意しました。

任期 平成29年7月20日～平成32年7月19日



- 吉松 正幸氏 (須恵区・69歳)
- 湯下 隆氏 (新原区・68歳)
- 今泉 國次氏 (上須恵区・72歳)
- 今泉 増雄氏 (甲植木区・69歳)
- 長野 和之氏 (佐谷区・69歳)
- 稲永 計氏 (乙植木区・71歳)
- 三角 光春氏 (旅石区・69歳)
- 今泉 守正氏 (甲植木区・65歳)
- 丸山 信治氏 (山の神区・35歳)

本会議傍聴のご案内

本会議は一般に公開されており、簡単な手続きで傍聴することができます。傍聴を希望される方は、本会議当日に役場4階議会事務局の窓口にお越しください。(予約不要)

議会を生でみてみよう!



次の定例会は
9月1日からの予定です。

ホームページで本会議の会議録を公開しています。

須恵町議会 検索

平成23年以降の会議録を掲載しています。ぜひご覧ください。



うすれゆく絆を

区長会との懇談会 平成29年7月14日(金)

議員・行政区長・町関係者による懇談会が行われ、近年問題になっている組合加入率に議題を絞って協議しました。

行政区・近隣町の組合加入の現状について把握したのち、区長会から篠栗町の取り組みについての報告がありました。

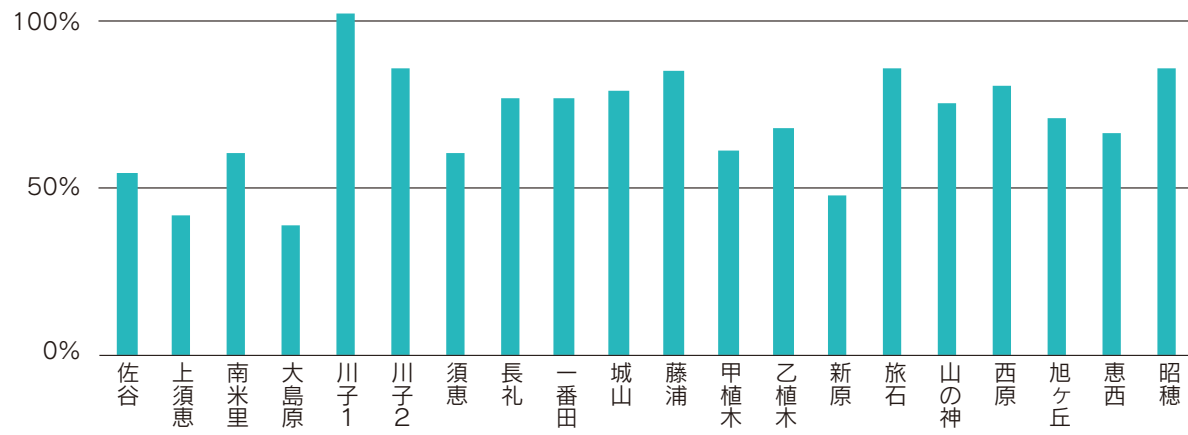
また、町から、モデル事業として第二小学校区で行われている「魅力発見プロジェクト」の報告がありました。この結果を地域活性化・組合加入率増加にいかに関与していくかが、これからの課題の一つです。

活発な意見交換を行い、区長会・議会それぞれの役割を確認し、行政の支援をさらに求めていくことで意見の取りまとめを行いました。



住民課窓口で転入者に配布している案内

行政区別組合加入率(平成29年7月現在)



*加入率は、各行政区長から町に報告される戸数を住民基本台帳上の世帯数で除して算出したものです。

須恵町消防団を激励



団長・副団長に激励の言葉

6月19日(月)消防操法大会に向けた訓練を見学しました。健康広場では全10分団の団員が懸命に汗を流し、訓練に励んでいました。世代交代が行われた分団もあり、先輩団員の指導のもと、若い団員が真剣な眼差しで操作を行っていました。また、指揮者は気迫あふれる号令で、声を囁らしながらも指揮・誘導をされていました。今年も町大会のみの開催です。どの分団も若い力による戦いとなります。優勝に向け、各分団、切磋琢磨して栄冠を勝ち取っていただきたいと思えます。私たちの「まち」を守るため、日々訓練を重ねる消防団員の皆さまに感謝し、さらなる飛躍を期待します。